

# 農村の振興

## シリーズ企画

### 「多面的機能の発揮の活動と地域リーダー」

## みんなので創り育もう江井島ため池

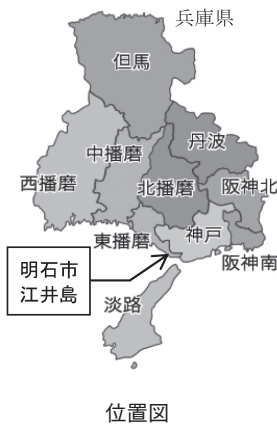


尾 仲 利 治 (兵庫県)  
江井ヶ島ため池協議会 会長



### 一、地域の概要

本地域は兵庫県南部の瀬戸内海に面した明石市に位置しており、雨の少ない気候で、先人たちが水の確保に苦勞してきました。そのため、当地域一帯には、多くのため池が造成され、農業だけでなく生活にも欠かせない「地域の財産」として、農業者により大切に保全されてきました。



江井島地区は、周辺の都市化が進展する中、都市近郊の貴重な田園空間として、43haの農地と私達

の主な活動場である皿池（市内最大11ha）と谷池（7ha）が広がっています。

### 二、取組みの経緯

従来から、ため池管理者の江井ヶ島土地改良区を中心のため池や水路の保全に取り組んできましたが、都市化や農業者の高齢化により、施設の管理が難しくなってきました。その結果、ゴミの不法投棄や水質悪化による悪臭等、ため池に隣接する地域住民等から様々な苦情が管理者に寄せられ、管理者の自助努力だけでは、ため池と地域の共存が困難となりました。

平成18年当時、改良区の職にあった私は、「この状況を何とか周りの人にも理解して力を貸して欲しい」「新旧住民の交流の場としてため池が利用できるか」「ため池を中心とした田園環境を地域住民も一体で守れないか」と考え、地域で

話し合いを進めていたところ、新たに開始する農地・水・環境保全向上対策を活用することとしました。

地域住民等にも広く呼びかけ、土地改良区、池周辺の12自治会、7民間企業、財産区管理会で活動組織「江井ヶ島ため池協議会」を設立し、「みんなので創り育もう江井島ため池」をキャッチフレーズに地域一体のため池の保全管理を行なう体制作りを目指すこととしました。

農地維持活動や共同活動は、ため池の堤体の草刈りや水路の泥上げ、軽微な補修等を実施します。話し合いを通じた活動を重視しており、年1回の総会では、水辺空間の利用計画、水辺の環境計画、田圃の環境計画を話し合い、年間の活動方針を決定します。また、総会その他、クリーンキャンペーンや野鳥観察会等の様々な行事運営の事で随時話し合いの場を持っています。

### 三、地域での共生に向けて

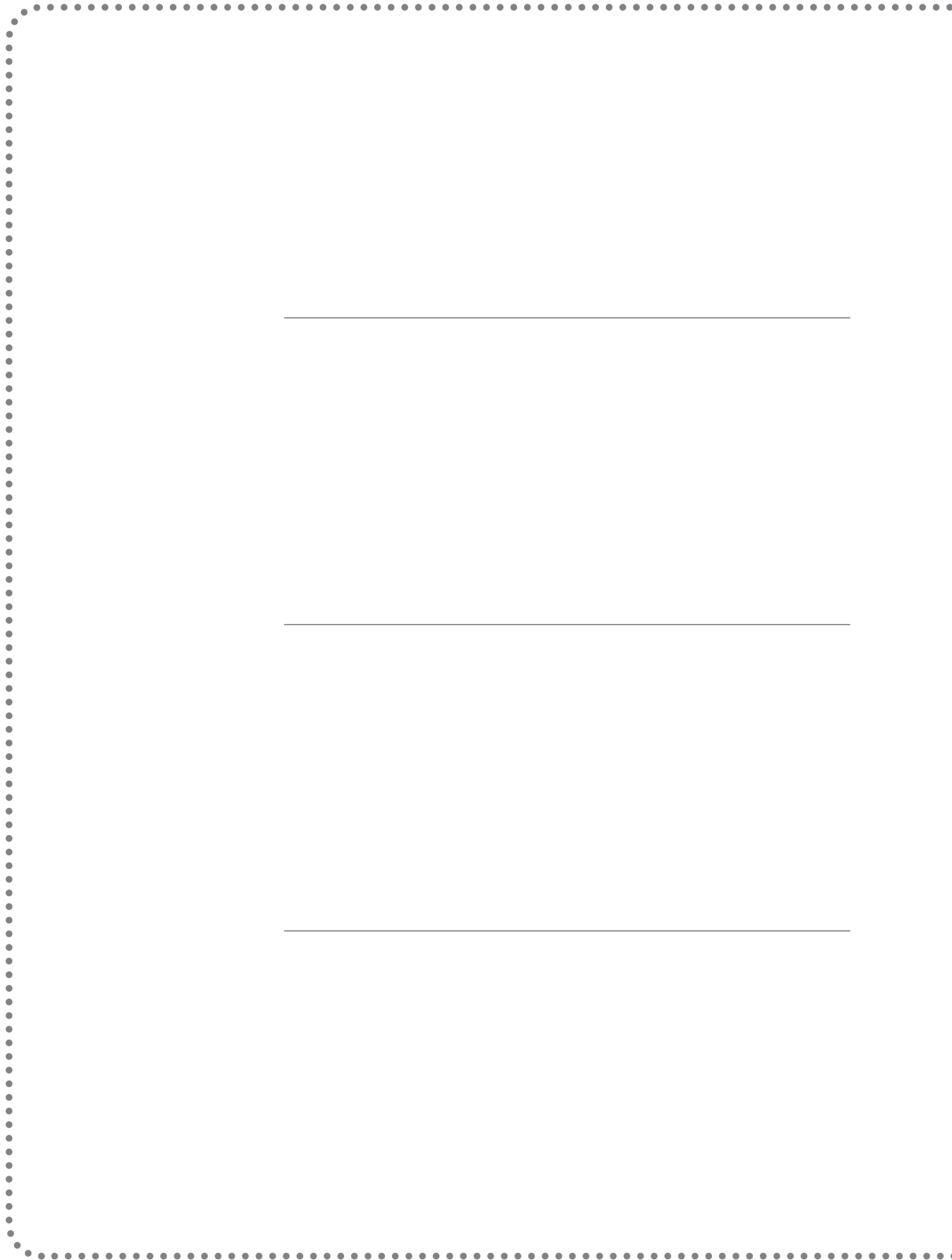
地域での共生に向けて、地域住民の方々と子供達と連携した活動について紹介します。

#### (一) 地域での話し合い

本会構成員のうち、非農家地域住民が9割と大半を占める状況で、ため池のことをもっと地域で知ってもらい、管理者と地域住民が話し合いを持つ場が重要と考え、まずワークショップを開催することとしました。環境や防災等身近なテーマを通じて話し合い、ため池の利活用計画やハザードマップの作成等多くの成果が得られました。それらの成果を元に、地域住民が訪れやすい親水施設の整備やハザードマップを活用した防災訓練等、ため池と共生する街づくりに取り組んでいます。

#### (二) ふるさと意識の醸成

皿池には全国的にも希少な水草のオニバスが生息する貴重な環境が



---

---

---